

総合

防災マップ

2023年
3月発行
保存版



笑顔 輝き 魅力あふれる

なごみまち



和水町

和水町総合防災マップ

町民の皆様へ

近年、熊本地震をはじめ令和2年7月豪雨など我が県においても甚大な被害を及ぼす自然災害が毎年のように発生し、県内各地で多くの尊い生命や財産が奪われております。

本町でも過去に水害や土砂災害により、命を亡くされた方や住宅等への被害が発生しております。

地域防災力を高めるため、ソフト・ハード対策が一体となった総合的な防災対策の充実強化を推進しているところです。



この度、災害に強い安心・安全なまちづくりの一助として最新の情報を基に和水町総合防災マップを更新いたしました。

この防災マップには、水害・土砂災害・地震など自然災害が発生する恐れのある区域や避難所等の位置、非常時持ち出し品のチェックリストやマイ・タイムラインの作成方法などを掲載しております。

この防災マップを災害から身を守る身近な一冊として、手元に備えていただき地域や家庭、職場において事前の防災対策や避難訓練に役立てていただきますようお願い申し上げます。

令和5年3月 和水町長 石原 佳幸

索引

●総合防災マップの使い方 1

●くまもとマイタイムラインシート 2・3

●防災対策&チェック 4

●非常時持ち出し品の準備&チェック 5

●洪水・土砂災害 6

●風水害・台風 7

●地震 8

●揺れやすさMAP 9

●避難について 10

●避難所一覧 11

●防災対策 12

●和水町全体図 13

●MAP 1～13 14～39

●和水町役場三加和総合支所周辺図 40

●和水町役場周辺図 41

●防災に関する知識 裏表紙

発行:和水町 製作・著作:株式会社ゼンリン熊本営業所 作成:令和5年3月

なごみん承認番号:©和水町マスコットキャラクター #38

この地図は、和水町長の承認を得て、同町発行の1/2500地形図を使用し、調整したものである。(承認番号)令和2年和水建第1301号

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-1209号」 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 294-549号」

総合防災マップの使い方



総合防災マップの使い方

ステップ

1

地域の危険な区域を確認しましょう

各種ハザードマップから、お住まいの地域にどのような危険性があるか確認しましょう。大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、土砂災害のおそれがあるかなどの確認が必要です。



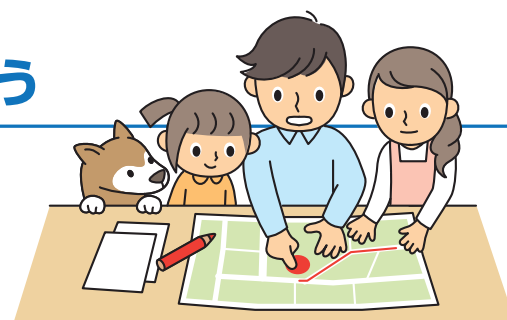
ステップ

2

避難経路や避難方法の確認をしましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動（避難タイミングと避難先）は異なります。大雨・台風などの災害ごとに命を守るための避難行動を確認しましょう。

また、実際に避難経路を歩いて、いざというときにスムーズに避難できるようにしましょう。



ステップ

3

命を守るために日頃からの備えを確認しましょう

災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、マイタイムラインを活用し、日頃から備えておきましょう。



総合防災マップ記載のハザード情報

《浸水想定区域(最大規模)とは》

- ①この防災マップの浸水想定は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域が浸水した場合の想定水深を表示。
- ②この洪水浸水想定区域図は、指定時点の菊池川水系の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により菊池川水系の河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測。
- ③シミュレーションの実施にあたっては、支流の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫は考慮していません。この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

《土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは》

- ①土砂災害危険箇所を対象に土砂災害防止法に基づく詳細な調査を行い、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定した箇所を掲載しています。
- ②土砂災害警戒区域内では、警戒避難体制の整備等が図られます。また、宅地建物取引においては区域内である旨について重要事項説明を行うことが義務付けられています。土砂災害特別警戒区域内ではさらに特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、建築物の移転勧告等が図られます。
- ③現在、順次指定を進めていますので、最新の指定状況については町、県の出先機関である玉名地域振興局、あるいは熊本県土木部砂防課にお問い合わせください。

くまもとマイタイムラインシート

【家族の連絡先や行動】 ※避難する時に一緒にいないことも想定して書いてください。

名 前	携帯電話番号	自宅以外の主な滞在場所(職場・学校など)	電話番号	もしものときの合流場所・連絡方法など

【避難の準備】 ※あらゆる災害を想定し、日ごろから準備しておきましょう。

①避難する時の服装

	安全で動きやすい服装を一つにまとめておく(寒い時期は、防寒対策も十分に行う)
	リュックなどの両手が自由に使える持ちやすいバッグを選ぶ
	大雨で道路や歩道が浸水している場合に備えて運動靴を選ぶ(長靴は水が中に入ると歩きにくくなる)

②避難する時の持ち出し品 ※基本的な品目をチェックし、各自で追加・削除してください。

現金	通帳・印鑑	健康保険証	免許証
懐中電灯／ランタン	乾電池／バッテリー	携帯電話充電器	(ウェット)ティッシュ
飲料水	食料(保存食など)	下着・衣類	靴
防寒着	毛布／寝袋	タオル	眼鏡・コンタクト保存液
薬・お薬手帳	ハブラシ	生理用品	マスク
マイナンバーカード			

③備蓄品リスト ※基本的な品目をチェックし、各自で追加してください。

保存食	インスタント食品	飲料水	給水ポリタンク
紙皿・紙コップ	ラップ	割り箸	ビニール袋
(ウェット)ティッシュ	タオル	簡易トイレ	

【地震と津波の避難行動】

平 時 の 備 え	【防災訓練】 ____ 月 ____ 日 ____ 訓練に参加
	【避 難 先】 地震と津波の避難先を次表の「避難開始」の下にそれぞれ記入
	【避難準備】 上記の避難する時の「服装」「持ち出し品」「備蓄品」を準備
いつ起きるか わからない	地震発生(強い揺れ) ★3つの安全確保行動(まず低く・頭を守り・動かない) ・一緒にいる人の安否確認 (津波浸水想定区域にお住まいの方) 津波警報・大津波警報の発表 ◎避難開始(とにかく安全な場所へ) ※津波到着まで時間がある場合は、 避難先: _____ へ(____ 分) ※津波到着まで猶予がない場合は、 緊急避難先: _____ へ(____ 分)
発生後 津波や 地震活動 に備える	<自宅が損壊した(損壊するおそれがある)場合> ◎避難開始 避難先: _____ へ(____ 分)

くまもとマイタイムラインシート

家族構成	人(一緒に避難: 人)	自宅の災害リスク
------	-------------	----------

	避難先の名称(施設など)	移動時間	対象とする災害(○を付ける)							
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山	その他
避難先①		分								
避難先②		分								
緊急避難①		分								
緊急避難②		分								

わたしと家族の避難行動

平 時 の 備 え	【避難訓練】 月 日 訓練に参加	
	【防災情報】	
	【避難準備】 避難する時の「服装」「持ち出し品」「備蓄品」を準備	
	【その他】	
警戒レベル 1	(2~3日前)	早期注意情報(警報級の可能性)
警戒レベル 2	(気象状況が悪くなる)	大雨・洪水注意報／ ^{はん らん} 氾濫注意情報
		※高潮と火山のリスクがある人と 台風の暴風で自主避難する人 (警戒レベル3相当情報を記入)
警戒レベル 3	発表 時ごろ (災害のおそれあり)	大雨・洪水警報／ ^{はん らん} 氾濫警戒情報 高齢者等避難
	☐ 避難スイッチ👉	(警戒レベル4相当情報を記入)
警戒レベル 4	見込 時ごろ (災害のおそれ高い)	土砂災害警戒情報／ ^{はん らん} 氾濫危険情報 避難指示
	☐ 避難スイッチ👉 【ポイント】 警戒レベル3(相当)の発表時間をメモし、夜間に警戒レベル4(相当)となる見込みの場合は、避難開始の時間を早める	
警戒レベル 5	(災害発生又は切迫)	大雨特別警報、 ^{はん らん} 氾濫発生情報 緊急安全確保
(発生後)	★もし、避難できていない場合は、緊急的に安全を確保できる場所や建物の2階以上に移動	

防災対策&チェック

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

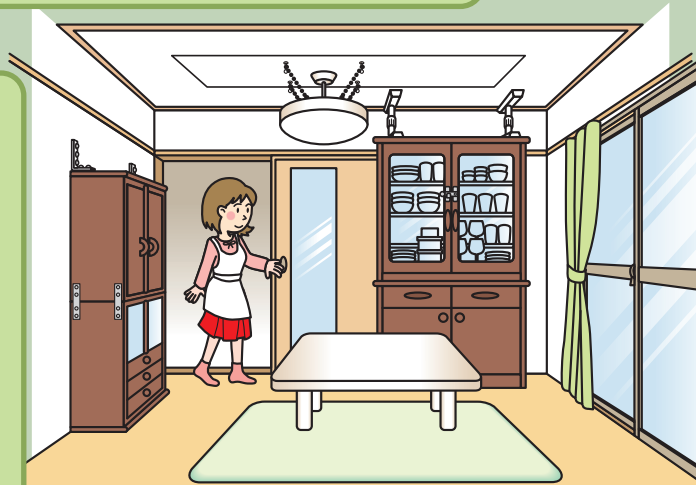
家の中の安全対策

❑ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

❑ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



❑ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

❑ 寝室、子どもや高齢者のいる部屋には家具を置かない

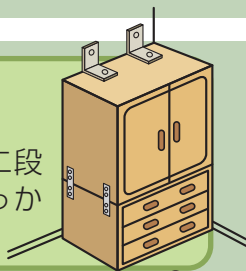
就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



家具の転倒、落下を防ぐポイント

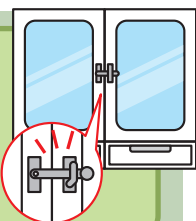
❑ タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



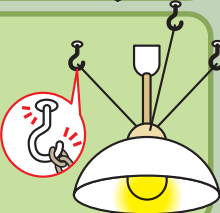
❑ 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



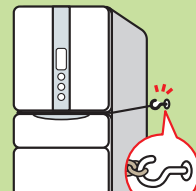
❑ 照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



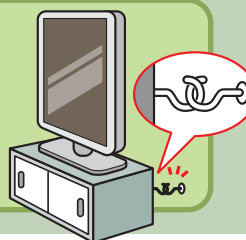
❑ 冷蔵庫

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



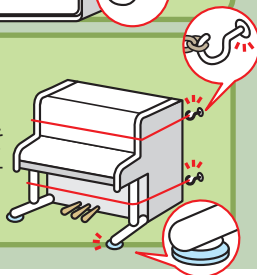
❑ テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



❑ ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



家の周囲の安全対策

❑ 屋根

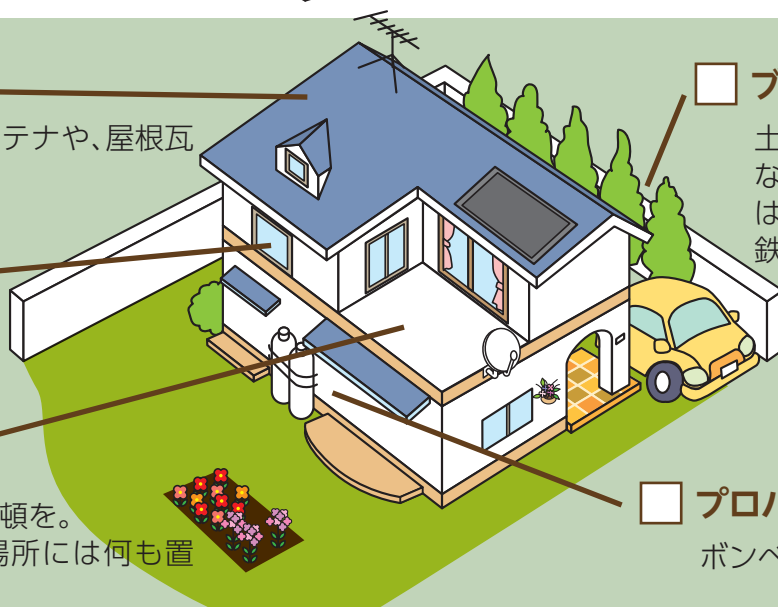
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

❑ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

❑ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。



❑ ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

❑ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

大丈夫かな?



非常時持ち出し品の準備&チェック

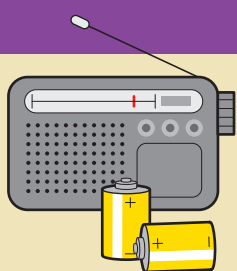
いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。
事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。



非常時持ち出し品（例）

携帯ラジオ

- ☐ ラジオ
- ☐ 電池
(多めに用意)



救急医療品

- ☐ 常備薬
- ☐ 傷薬
- ☐ 風邪薬
- ☐ 鎮痛剤
- ☐ 絆創膏
- ☐ 包帯
- ☐ 胃腸薬
- ☐ マスク



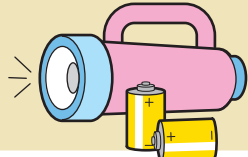
貴重品

- ☐ 現金
- ☐ 印鑑
- ☐ 健康保険証
- ☐ 預金通帳
- ☐ 免許証
- ☐ 権利証書
- ☐ マイナンバーカード



懐中電灯

- ☐ 懐中電灯
(できれば一人にひとつ)
- ☐ 電池
(多めに用意)



非常用食品等

火を通さないで食べられるもの、食器など

- ☐ 非常用食品
- ☐ 缶切り
- ☐ 紙皿
- ☐ 缶詰
- ☐ ミネラルウォーター
- ☐ 栓抜き
- ☐ 紙コップ
- ☐ 水筒



その他

- ☐ 衣類(下着・上着など)
- ☐ 生理用品
- ☐ 離乳食
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ヘルメット
- ☐ ラップフィルム
(止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ 防災マップ(本書)
- ☐ タオル



- ☐ 粉ミルク
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 雨具
- ☐ ライター
- ☐ 携帯電話の充電器

非常時用備蓄品（例）

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水

- ☐ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター
(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水した防災タンクなど



非常用食品

- ☐ お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)



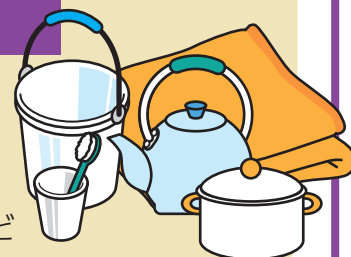
燃料

- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料



その他

- ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など



定期!点検

非常時持ち出し品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持ち出し用品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



熊本地震で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ブルーシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに非常用食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。



洪水・土砂災害

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



土砂災害

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに熊本県と熊本地方気象台が共同で発表しています。

土砂災害の危険がある地域にお住まいの方は、特に早めの避難が重要ですので、土砂災害警戒情報が発表された際は、全員避難してください。土砂災害警戒情報が発表されていなくても、下の図のような土砂災害の前兆に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難してください。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



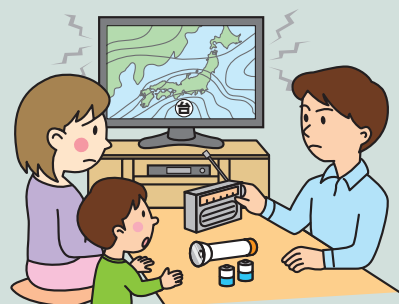
※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

風水害・台風



大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。



まずは、確実な情報が大事
その次に迅速な対応

大雨 注意報

大雨による土砂災害や浸水害が発生する
おそれがあると予想したときに発表

大雨警報

大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれ
があると予想したときに発表
特に警戒すべき事項を表題に明記して「大雨警報(土砂災害)」、
「大雨警報(浸水害)」又は「大雨警報(土砂災害・浸水害)」のように発表

大雨特別 警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表
特に警戒すべき事項を表題に明示して「大雨特別警報(土砂災害)」、
「大雨特別警報(浸水害)」又は「大雨特別警報(土砂災害・浸水害)」のように発表
雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが残っている場合には発表を継続

■記録的短時間大雨情報とは・・・数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに、各地の気象台が発表します。
熊本県区域の発表基準は、1時間雨量110mmとなっています。

雨の強さと 降り方

時間雨量 (mm)	10 以上～20 未満	20 以上～30 未満	30 以上～50 未満	50 以上～80 未満	80 以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

風の強さと 吹き方

平均風速 (m/秒)	10 以上～15 未満	15 以上～20 未満	20 以上～25 未満	25 以上～30 未満	30 以上～
予報用語	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。		屋外での行動は極めて危険。

台風の大きさと 強さ

台風は、毎年のように日本に襲来し、極めて大きな災害をもたらすことがあります。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型 (大きい)	500km 以上～800km 未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持ち出し品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や非常用食品を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに
気象情報には、
注意して
おきましょう！



地震

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- ◆まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- ◆すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- ◆大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する

揺れがおさまったら

- ◆火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- ◆家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- ◆靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- ◆避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意
- ◆津波などの危険が予想される地域はすぐ避難

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

**隣近所に
声をかけよう**

- ◆避難行動要支援者の安全確保 隣近所で助け合う
- ◆行方不明者はいないか ◆ケガ人はいないか

**出火防止
初期消火**

- ◆初期消火 消火器を使う バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
- ◆漏電・ガス漏れに注意 ◆電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ◆余震に注意

5分

ラジオなどで正しい情報を得る

- ◆救出・救護を
- ◆町や防災機関、自主防災組織の情報を確認
- ◆デマにまどわされないように ◆電話は緊急連絡を優先する

10分

協力して消火活動、救出・救護活動

- ◆水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と非常用食品の備蓄をしておく
- ◆災害・被害情報の収集 ◆無理はやめよう
- ◆助け合いの心が大切 ◆壊れた家に入らない

数時間

3日

屋内にいた場合

◇家の中

- ◆揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- ◆火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- ◆高齢者等の避難行動要支援者の安全を確保する。
- ◆裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

◇集合住宅

- ◆ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

◇デパート・スーパー

- ◆カバンなどで頭を保護しショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

◇劇場・ホール

- ◆カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- ◆あわてずに冷静な行動をとる。



屋外にいた場合

◇路上

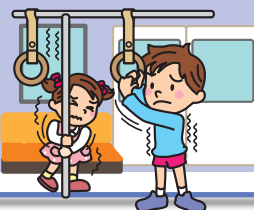
- ◆その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ◆近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ◆ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- ◆倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

◇車を運転中

- ◆ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- ◆揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- ◆避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

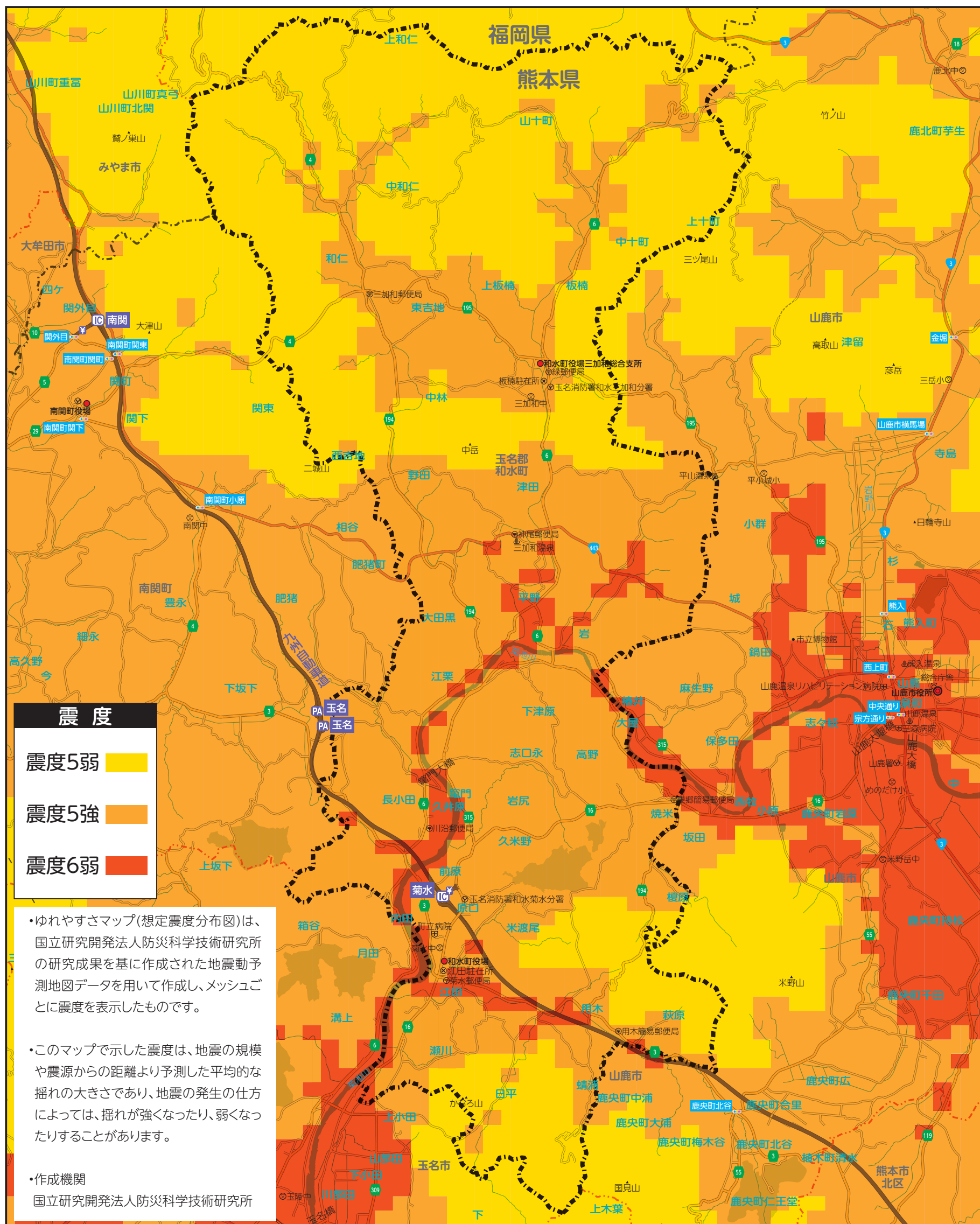
◇電車などの車内

- ◆つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- ◆途中で止まって、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- ◆乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



揺れやすさMAP

このMAPは、30年6%の確率で一定の揺れに見舞われる計測震度の領域図になります。



避難について

避難のポイント

発生する災害種別に対して立退き避難が必要な場合には、町が指定した当該災害に対応した指定緊急避難場所への避難や、安全な場所にある親戚・知人宅への避難が考えられます。あらかじめ相談しておきましょう。ただし、既に周辺で災害が発生している場合など、立退き避難がかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合は、「近隣の安全な場所」への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、「緊急安全確保」を行います。

近隣の安全な場所

立退き避難が必要な場合は、指定緊急避難場所以外にも近隣のより安全な場所や建物、親戚・知人宅への避難を検討してください。



緊急安全確保

既に周辺で災害が発生している場合など、立退き避難がかえって危険な場合は、その時点で居る建物内において、より安全な部屋等への移動など「緊急的な行動」をとってください。



避難時の注意

●情報の確認

雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。



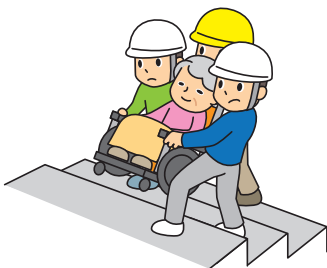
●防災責任者の指示に従う

避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。



●隣近所への呼びかけ

お年寄りや子供、病気の方は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくくと便利です。



●動きやすい服装、集団での避難

避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。



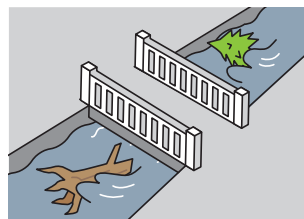
●車での避難は危険

自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。



●橋や川の近くは危険

川が増水している場合には、川の流が速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。



●避難時の歩き方

避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。



避難所一覧



【和水町】指定避難所一覧

自宅にいる事に危険を感じるときや、災害により住宅を失った場合などに、一定の期間または一時的に避難生活をする場所です。

施設名	所在地	洪水	崖崩れ、土石流 及び地滑り	地震
和水町中央公民館	和水町江田 3883-1	○	○	○
和水町体育館	和水町前原 437-1	○	○	○
菊水中学校体育館	和水町江田 4250	○	—	—
菊水小学校体育館	和水町江田 2891	—	○	○
菊水ロマン館	和水町江田 455	—	○	○
三加和公民館	和水町板楠 76	○	○	○
スカイドーム 2000	和水町大田黒 964	○	○	○
春富集会センター	和水町和仁 17	—	○	○
和水町福祉センター	和水町平野 1276-3	○	○	○
三加和小学校体育館	和水町板楠 1001	○	—	○
旧緑小学校体育館	和水町板楠 2982	○	○	○
旧春富小学校体育館	和水町和仁 527-3	—	○	○
三加和温泉ふるさと交流センター	和水町大田黒 789	○	○	○

【和水町】指定緊急避難場所一覧

災害から一時的に身を守るために避難する場所です。

施設名	所在地	洪水	崖崩れ、土石流 及び地滑り	地震
和水町中央公民館	和水町江田 3883-1	○	○	○
和水町体育館	和水町前原 437-1	○	○	○
菊水中学校体育館	和水町江田 4250	○	—	—
菊水小学校体育館	和水町江田 2891	—	○	○
和水町役場本庁職員駐車場	和水町江田 3886	—	—	○
菊水ロマン館	和水町江田 455	—	○	○
三加和公民館	和水町板楠 76	○	○	○
スカイドーム 2000	和水町大田黒 964	○	○	○
春富集会センター	和水町和仁 17	—	○	○
和水町福祉センター	和水町平野 1276-3	○	○	○
三加和小学校体育館	和水町板楠 1001	○	—	○
旧緑小学校体育館	和水町板楠 2982	○	○	○
旧春富小学校体育館	和水町和仁 527-3	—	○	○
和水町役場三加和総合支所裏 多目的広場	和水町板楠 70	—	—	○
三加和温泉ふるさと交流センター	和水町大田黒 789	○	○	○
下津原西公民館	和水町下津原 3379	○	○	—
下津原中公民館	和水町下津原 2910	○	○	—
下津原東公民館	和水町下津原 1211-1	○	—	—
下久井原公民館	和水町久井原 2345	○	○	—
上久井原公民館	和水町久井原 2161-1	○	—	—
長小田公民館	和水町長小田 389	○	○	—
内田公民館	和水町内田 2022	○	—	—
江栗集会所	和水町江栗 2301	○	—	—
竈門公民館	和水町竈門 454-1	○	○	—
平野公民館	和水町平野 10	○	○	—
猿懸山口公民館	和水町上十町 1147-1	○	—	—
中岩公民館	和水町岩 221	○	—	—
上岩公民館	和水町岩 1180-2	○	○	—
東山公民館	和水町中和仁 189-1	○	○	—
野中公民館	和水町上和仁 32-1	○	○	—
中和仁中組公民館	和水町中和仁 1271-6	○	○	—

【和水町】福祉避難所一覧

必要に応じ、指定避難所等での生活が困難な方（要配慮者（※1））を対象に滞在させることを想定した二次的な避難所です。

施設名	所在地	洪水	崖崩れ、土石流 及び地滑り	地震
特別養護老人ホームきくすい荘	和水町江田 4025	—	—	—
特定非営利活動法人黎明グループホーム夢路	和水町前原 90-1	—	—	—
特別養護老人ホーム和楽荘	和水町平野 1300	—	—	—
介護老人保健施設清風苑	和水町上板楠 1697-1	—	—	—

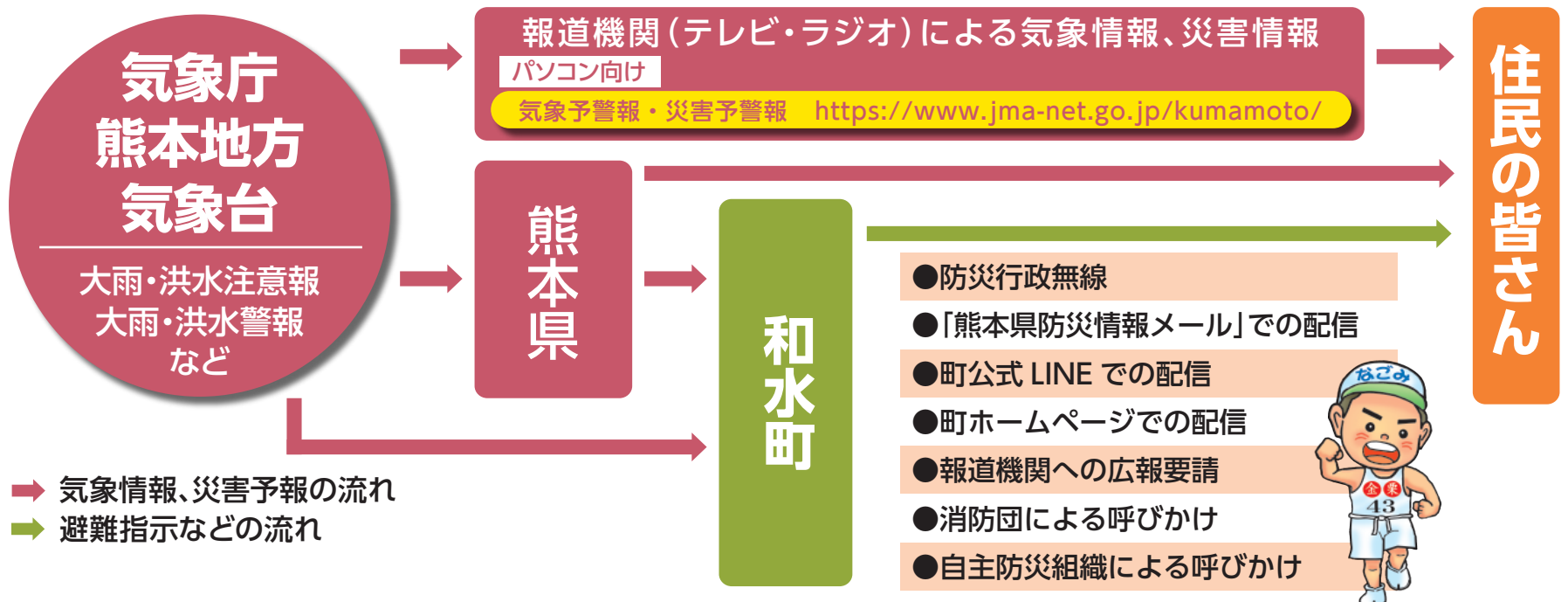
（※1）要配慮者とは、災害時において高齢者、障がい者、乳幼児等その他特に配慮を要する者（その他の者：妊産婦、傷病者、内部障がい者、難病患者等）を指します。

防災対策

町では、皆さんの生命に危険が及ぶと判断した場合、警戒レベル3から警戒レベル5を発令し、皆さんに避難を促します。
避難指示などを発令するときは、さまざまな状況を総合的に判断して発令します。

気象情報・防災情報などの流れ

災害に関する注意報や警報が発令されたら、町からの情報に注意してください。



警戒レベルと避難のタイミング

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報	防災気象情報 (警戒レベル相当)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 (※1) (市町村発令)	大雨特別警報 氾濫発生情報 (暴風特別警報)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (市町村発令)	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報・特別警報
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2 ●避難に時間のかかる要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児等)とその支援者は避難 ●高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難	高齢者等避難 (市町村発令)	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報 (警報の可能性) (暴風警報※2)
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 (気象台発表)	氾濫注意情報 (強風注意報)
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性) (気象台発表)	

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである